

令和4年度 高等学校入学者選抜審議会 第2回専門委員会 記録

令和4年10月20日(木) 10:00~11:40
県庁11階 第二会議室

＜審議会専門委員＞

熊谷 龍一委員長, 浅野 直美委員, 高橋 千春委員, 佐藤 和夫委員, 河本 和文委員, 茂木 悟委員,
佐々木 久晴委員, 菅井 理恵委員

(欠席: なし)

＜事務局＞

遠藤 秀樹 高校教育課長, 春日川 孝 仙台市教育局学校教育課長

(欠席: なし)

事務局	(資料の確認) (公開の確認)
	(開会)
事務局	(出席確認)
高校教育課長	(開会あいさつ)
	(委員長 司会進行開始)
委員長	本日もよろしく願います。次第に従って進める。 まず、(1) 報告, 第1回専門委員会の審議確認について, 事務局から報告願う。
事務局	(事務局より説明)
委員長	報告について質問又は意見願う。 (質問なし) 次に、(2) 審議, 質問紙調査集計結果詳細分析についてだが、資料が多いので、区切りながら進める。 まず、中学校から審議する。資料等に関する説明と合わせて、中学校の分析に関して事務局から説明願う。
事務局	(事務局より説明)
委員長	中学校の分析についての説明について、質問又は意見願う。 特に中学校関係の委員の先生方、気づいた点や質問あれば発言願う。 高橋委員発言願う。
高橋委員	質問ではないが、事前配布資料を読んで、特に求める生徒像・選抜方法に関して、中学校側の指導の仕方、支援の仕方にも、改善の余地があると感じた。 中学校1年生や2年生の段階から、情報をきちんと周知する必要性や高校が行っている体験入学やオープンスクールとセットにした指導をしていくことが、入試制度について生徒及び保護者への理解につながると感じた。 もう一つは、難しい問題だが、いろいろな項目の中に、地域性が見え隠れしている。定員割れの高校が多い地域や私立の学校に進学をする生徒が少ない地域と、それ以外の地域との差が、意識にも大きく表れていると感じた。 学校現場の努力だけでは解決できない、例えば、少子化など、根本的な問題もあると感じた。
委員長	発言感謝する。他に質問又は意見願う。 佐藤委員発言願う。
佐藤委員	そうだなと思いながら説明を聞いた。 これまで勤めた学校によっては、中学校入学から高い志を持ち、中学1年生の段階から、「私はこの高校に入るんだ。」と考えて勉強している生徒が多い学校もあったし、中学1年生に入った段階ではまだまだ高校のことは全く考えられず、中学校

	<p>の生活を充実していくことが精一杯だという生徒もいた。</p> <p>また、高校が示す求める生徒像もあるが、中学校に入れば、中学校で目指す生徒像があり、その中学校生活の中で、自分が目指すものはこういうものという点を、中学校全体で共有しながら、生活を送っていることもあり、高校進学に向けて、意識を高めていくのが、2年生後半から3年生中盤ぐらいになってしまっている現状がある。</p> <p>また、中学校の進路指導についても、2年生や3年生に寄っている部分があるので、1年生の時から計画的に、進路の情報や高校入試に関する情報も含めて、子供たちと共有して指導していく必要もあり、計画的に、1年、2年、3年と、発達段階に応じた進路学習をしていく必要があると改めて感じた。</p>
委員長	<p>発言感謝する。</p> <p>(他になし)</p> <p>次に、高等学校の分析に関して事務局から説明願う。</p>
事務局	(事務局より説明)
委員長	<p>高等学校の分析についての説明について、質問又は意見願う。</p> <p>特に高等学校関係の委員の先生方、気づいた点や質問あれば発言願う。</p> <p>佐々木委員発言願う。</p>
佐々木委員	<p>基本的に説明された通りだと感じている。</p> <p>問9の「入試業務の負担が軽減している」という質問に対して、どうしてもコロナ対応で負担感が増しているという部分で、追考査やインフルエンザのための対応は、事前に準備をしてきたところではあったが、そこにコロナが重なり、濃厚接触者等、細かい基準が出てきたことなどを考えると、負担感というか、学校としては、この場合どうしたらいいということを考えるケースが増えてしまった。そして、こういう部分は、どうしても業務量が増加したと感じると思う。</p> <p>入試期間の問題についても、説明にもあったように、生徒や保護者の意見において、学力検査から合格発表までの期間等、期間を短くして欲しいという意見もあったことなど、バランスを取るのには難しいと感じた。今の入試の期間のとり方を考えれば、公立高校としてはベストに近い形で実施していると思うので、十分に議論を重ねながら考えていくしかないと思う。</p>
委員長	<p>発言感謝する。</p> <p>負担感については、アンケート調査した時は、コロナの影響が直接影響した時期で、入試以外でも、いろんなところで負担感をすごく感じていた時の調査であり、そういうのがおそらく反映していると思う。また、こういう調査は引き続き、捉えていくことによって、どう変化していくのかを見ていく必要があるかと思う。</p> <p>しかし、入試業務は非常に負担が大きい作業であることは変わりなく、短期間の日程を1ヶ月2ヶ月先に延ばすなどしても、作業負担感ということ自体は、大きくは変わらない。また、そのように変化させても他の課題が出てくると思う。現状の中では、最善を尽くしている日程と感じた。</p> <p>河本委員発言願う。</p>
河本委員	<p>先ほどの中学校の分析にも含まれていたが、高校側の特色選抜で、求める生徒像を明示して、それに対して生徒募集をしている。今は大きな影響はないが、今後、例えば、中学校の活動における部活動の取組について、来年度から中学校外のクラブ等への参加が認められることから、中学校外での活動も、評価の対象にしなければいけない、あるいは、それが公平な形で評価できるのかという問題もある。特色選抜については、今後、見直しが高校側に迫られてくる可能性もあるので、特色選抜が一定の形で続けていくこと可能なのかどうかは不安を感じる。是非とも、この部分は今後検討願う。</p>
委員長	<p>発言感謝する。他発言願う。</p> <p>(他になし)</p> <p>次に、生徒及び保護者の分析に関して事務局から説明願う。</p>
事務局	(事務局より説明)
委員長	<p>生徒及び保護者の分析についての説明について、質問又は意見願う。</p> <p>保護者の立場から浅野委員、気づいた点や質問あれば発言願う。</p>

浅野委員	アンケートの自由記述で、説明通りで、問12の特色選抜と共通選抜について、保護者の理解がまだ足りないと思うので、周知方法をぜひ徹底願う。 また、生徒の意識や関心の低さなど、別の課題もあるとのことだが、受験を機に、家庭において、親子で話をすることが必要と思う。また、家庭学習の習慣化や子供の将来についても、求める生徒像という形で各高校が示している内容を、保護者と生徒とが家庭で話し合いが今後も必要になってくると強く感じた。
委員長	発言感謝する。 次に移る前に、ここで休憩とし、換気を行う。
	(休憩)
委員長	再開する。 生徒及び保護者の自由記述に関して事務局から説明願う。
事務局	(事務局より説明)
委員長	生徒及び保護者の自由記述についての説明について、質問又は意見願う。 茂木委員発言願う。
茂木委員	保護者の自由記述の中で、入試日程の一本化の1番目、「受験日程を前倒したほうがよい」、「卒業式より前に合格を発表して欲しい」との意見がある。私立は、卒業式前に発表されるが、公立の発表待っている生徒が多くいる中で、卒業式前に合格発表するというのは、特に中学校側では非常に意見の割れるところだと思う。ただ、一方では入試合格から入学するまでの準備期間短過ぎるという意見もあるので、この2つをセットで考えると前倒しがいいのかなと思う。中学校側の保護者、受験した中三生の気持ち、学校側の先生方の意見も十分聞いて慎重に進めないと難しいと思う。 他県の状況も情報収集していると思うが、窮屈感は、どうしてもここが引っかかるので、この点に関しては、中学校側の意見等をもっと聞いて欲しい。
委員長	発言感謝する。このことについて中学校側の委員で何かあれば発言願う。 高橋委員発言願う。
高橋委員	今の発言の通りである。合格発表と卒業式の兼ね合いを毎年考えている。どこの中学校でも卒業式は合格発表の前にしており、不合格者への対応は卒業式後に行っている。これであれば、生徒全員が、同じ気持ちで卒業式に出席できると思う。 日程を前倒して、入試の期間を前にすることはこれから必要と思うが、不合格だった生徒の卒業式出席というデリケートな部分があるので、多くの人から意見を聞き、検討していくべき内容と思う。
委員長	発言感謝する。 今の件は、「こうすればいい」との話ではなく、いろいろと考えなければいけないことが多いと思う。 スケジュールの問題も多くあると思うので、今後、継続的に審議していく必要がある課題である。 菅井委員発言願う。
菅井委員	特色選抜で、特に今回保護者の方の意見の中で、「どちらで合格したか開示して欲しい」と、もっともな意見と思う。 中学校、高校、生徒、保護者でこの特色選抜についての認識が結構乖離があること、特に生徒、保護者に至っては、あんまり気にしていないことも見て取れた。 今後のあり方として、「特色選抜で合格した私はこの学校でこのように頑張っている」「学校はこんなに元気です」のようなことが伝われば、特色選抜が入試にあるならと考慮するだろうが、全体的なこと考えると難しいのかと思う。 特色選抜を考えていく上で、生徒の理解、保護者の理解を、どのようにして行っていくかが課題の1つと思う。
委員長	発言感謝する。 前回の会議でもあったが、学校の特色選抜の周知については、いろいろこれからも検討していく必要があると非常に強く感じた。 とはいえ、大学受験の場合は、いろんな選抜があり、かなり早くからこのような選抜入試のために準備しようという動きがある。中学生については、中学1年生の

	<p>頃から、特色選抜があるから、希望する高校のために準備をしようという意識にはなかなか繋がらないと思う。この辺の認識というのは、周知は大事だと思うが、中学校生活という中で、どのように考えて、位置付けていくのかということも含めて考えていく必要がある。</p> <p>次に、旧制度の入試制度の検証で実施した質問紙調査において、今回の質問紙調査と重複する項目について比較し、旧制度の課題を解消できているかを確認する。事務局から説明願う。</p>
事務局	(事務局より説明)
委員長	<p>前回実施の質問紙調査との比較についての説明について、質問又は意見願う。</p> <p>私から意見ですが、少なくとも今回比較した項目は比較を前提に組んだ調査ではないと思うので、1ポイント2ポイントの上下について、詳細な比較をする訳ではなく、入試制度以外の要因、例えばコロナなども反映する数値だとは思いますが、そうは言っても、肯定的な評価をする数値がとも向上していることは、やはりこの入試制度の変更が、非常によく受け入れられていると感じた。</p> <p>1つ質問だが、前回調査した中学校、高校の数というのは、今回の調査と全く同じ数なのか、違いがあるのか。</p>
事務局	前回も今回も悉皆で実施しているので、公立はすべてが回答している。
委員長	回答率もあまり変わらず、回答いただいたということでよいか。
事務局	そうである。
委員長	<p>このような入試に関する調査は、これからも審議を続けていくものと思う。また、次回同じような調査をするときに、今回のような比較ができるような形を計画することも大事と思う。同じような質問をすると、比較もしやすい。また、今回非常に数値が高い、肯定的な評価が高いことから、統計的にはある程度高い評価が出ると、次は下がる方向に振れてしまう傾向だが、できるだけ高い評価を維持するように、いろいろと検討すればいいと考える。他発言願う。</p> <p>河本委員発言願う。</p>
河本委員	<p>旧制度との比較を見るといろいろな課題があったが大きく改善されている点で、今回導入した実施方法については、今回のような評価がされたと思うが、今後、生徒の変化や社会の変化を考えたときに、それに備えた制度設計を早目に取りかかる必要がある。</p> <p>特に今の入試制度で話題に出ている特色選抜の部分だが、実際、各学校は違いがわかりづらいという意見もあったが、求める生徒像を見ると、あまり各学校で大きな差が見られない。</p> <p>実質上、特色選抜に関して公立高校は、示した特色をとらえた生徒の枠組みを限定したところがあるのではないかと思う。</p> <p>ただ、現在の状況を考えると、中学生の活動等と考えると、様々な活動が行われていて、実際その活動を継続したり、その特色を持って進んでいきたいと思う生徒に対して、今の公立高校の特色選抜が十分対応できているかどうかという部分は非常に疑問がある。</p> <p>実際のところ、実数は正確に掴んでいないが、こういう特色を生かせるならこの私立高校へ、あるいは、最近非常に増えていると思うのが広域通信制への進学が、中学校の現場で多々進んでいると思う。</p> <p>実際、私の家の周りの子供たちの様子を見ると、これまで取り組んできた活動を継続していくためには、公立や私立だけでなく、広域通信制を選択しなければその活動を続けられないという生徒もいるし、最近有名スポーツ選手や芸能人が、高校の卒業の単位を取得し、特色と両立していくために広域通信制を選ぶというのが世間的に認められつつある状況である。</p> <p>今の公立高校の役目が、果たしてそういう生徒は、「他の学校に行ってください」という姿勢でいいのかという点も、今後の入試に大きく関わると思う。</p> <p>実際これから子供たちが少なくなり、私立高校も同じだが、生徒の確保という点が問われるときに、実際のところ、前回仙台市内でも、第二次募集を行った公立高校があったということは、明らかに生徒の目指す方向性が、数の減少だけではなく、気</p>

	<p>持ちの面でやりたいことを認められないのであれば、別の方向を選択するということが明らかに見えている証拠ではないかと思う。</p> <p>今後の公立高校がどのような特色を持った生徒を育てていくのかという点も含めた上で、今後の入試制度は検討されるべきと考える。</p>
委員長	<p>発言感謝する。</p> <p>次に、(3)審議 今後の定着に向けての改善の方向性について事務局から説明願う。</p>
事務局	(事務局より説明)
委員長	<p>改善の方向性についての説明について、質問又は意見願う。</p> <p>このまとめが中間報告及び最終報告のベースになっていくと思う。少し時間をかけてもう一度確認願う、もしまだ足りない部分等気づいた点あれば発言願う。</p> <p>私から1点、まとめた内容に、前回調査との比較検討について、基本的には、概ねこの制度自体は、肯定的に受け入れられた点として記載等を入れることは可能か。</p>
事務局	<p>これはあくまでも骨子になる。本日もいただいた意見等を踏まえ、その他の部分として、さらに記載していくことは可能と考えている。</p> <p>また、最終報告の段階でも、今後検証するところがもう少し明確になれば、継続的に検討していく点としてまとめることも可能である。</p> <p>これは、あくまでたたき台なので、追記した方がよい点があれば御意見願う。</p>
委員長	<p>他発言願う。</p> <p>高橋委員発言願う。</p>
高橋委員	<p>36ページの検証1の(3)の検証のまとめのうで、「改善が見られたけれども、国立や私立の受験もあり、引き続き検討が必要である」という箇所、地域差もあることも触れて欲しい。</p> <p>宮城県全体、均一に同じ状況ではないことも、鑑みる必要がある。今後、様々な調査をする際には、地域によって異なる点、例えば、仙台市内と郡部の、生徒と保護者の意識の差等も大きな課題になると思う。その点も考慮願う。</p>
委員長	<p>発言感謝する。</p> <p>本日の前半の審議でもあったように地域差も考慮する必要があるところと思う。ぜひ追記願う。他発言願う。</p> <p>(特になし)</p> <p>概ねこれまで審議いただいた意見等を反映された骨子になっていると感じた。</p> <p>次に、(4)審議 第2回高等学校入学者選抜審議会への中間報告について事務局から説明願う。</p>
事務局	(事務局より説明)
委員長	<p>中間報告に関する説明について、質問又は意見願う。</p> <p>(特になし)</p> <p>時間は予定より早い、審議すべき事項をすべて終了した。</p> <p>非常にスムーズに進行できたことにあわせて、非常に貴重な意見を頂戴したことに感謝する。</p> <p>事務局から連絡等あれば説明願う。</p>
事務局	(日程の確認・事務連絡)
委員長	本日の審議はこれまでとし進行を事務局にお返しする。
事務局	(閉会)